

令和6年度 第2回 浜松市立泉小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年9月24日（火） 13時48分から15時38分まで
- 2 開催場所 浜松市立泉小学校 家庭科室
- 3 出席委員 鈴木 章弘、石塚 猛裕、岩崎 まさの、新村 友得、石澤 光也、袴田 大介、和田 円
- 4 オブザーバー 鈴木 皓介（高台協働センター）
- 5 学校支援コーディネーター 黒田 裕美子、中川 もも子
- 6 学 校 中谷 哲久（校長）、松井 康子（教頭）、大石 晴子（主幹）、倉本 久美子（CSディレクター）

7 協議事項

- （1）いじめ防止等のための本校の取組について
- （2）学校の現状から見えてきた課題および支援について

- 8 会議録作成者 CSディレクター 倉本 久美子

9 会議記録

司会から、委員総数7人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

熟議

- （1）いじめ防止等のための本校の取組について

4月から7月で認知した件数は、77件。大人からしてみれば軽微なものが多い。ドッジボールで相手に睨まれた等があり、保護者、児童とは解消のめどがついている。

市で作成したリーフレットにて説明があった。

体面的ないじめはすぐ分かるが、SNS上のは分かりにくい。デジタルタトゥーの怖さを知らない。子供向けの講座はできるが、親と一緒にの講座はなかなかできない。地域でも一緒に考えていただきたい。（校長）

いじめをする方はいじめているとは思っていない。いじめられた方はなかなか発信できない。いつもと様子が違ったら、周りでの気遣いをしてあげた方がよい。（石塚委員）

SNS上のやり取り、今後インターネットを使わない選択肢がない。子供とどのように接するかの講座がある。子供と話すには、どうすればよいか。PTAが主催して、協働センターを借りて、講演会を開くことは可能か。（袴田委員）

全く問題はない。協力できる。（高台協働センター）

PTA活動が盛んなところは、先生方はもちろん地域との連携がしっかりとれている。（袴田委員）

SNS上で、中1の子が小学校まではスマホを持っていなかったが、部活でグループラインが

できて、悪口を言ってしまった。子供たちは裏で悪口を言うことの何がいけないのかが分からないようだった。何をしたら人が傷つくのかが分からない。顔が見えない分、余計に問題が悪化してしまう。過保護すぎてはいけないと思うが、保護者も危機感を持って対応しないといけないと思う。(中川学校支援コーディネーター)

低学年の時に、いじめの概念を知ることが大事。親も一緒に学ぶ機会が作れたらよいと思う。(石塚委員)

地域全体で見守るのであれば、利用されている間、協働センターでも見守ることはできるので、情報をいただけるのであれば協力できる。(高台協働センター)

情報をすべて教えることは難しいが、お互いに情報共有できればありがたい。市、教育委員会の方に確認したい。(校長)

初動での解決方法はどうしているのか。(新村委員)

周りの子供たちが教えてくれる。異変に気付いて保護者から連絡いただくこともある。(校長)

学校と放課後児童の連携ができていない。問題があった児童の保護者に伝え、「学校からは報告はない。」と言われる。定期的に情報交換をしたいと思っている。(和田委員)

早めに気付いて、何かあれば放課後児童会との情報交換はした方がよいと思う。(石塚委員)

(2) 学校の現状から見えてきた課題および支援について

職員の人手不足。朝来てすぐに教室に入れる児童ばかりではない。1年生が多い。支援員がついているが、午前中のみで、午後には帰ってしまうので困っている。学習支援、教育支援ができればよいと思う。教員が付いたとしても同じで一人がとられてしまう。小学校は生活支援が必要。運営協議会として、対応する方法を考えてほしい。第三者から見て、何かアイデアをいただければと思う。(校長)

朝の登校で見守りをしている時でも、泣いてしまう子もいる。(鈴木会長)

発達学級だからなのか。(石塚委員)

そうではない。(校長)

以前、教室に行けない子と1時間目を一緒に過ごしたことがある。2時間目には教室に送る事を半年くらい行った。昼休みも親とも話をしていない子と過ごした。主任児童委員がやっていた。泉小にも来ていた。(岩崎委員)

子育てが終わって働きたいと思っている人もいないのではないか。(石塚委員)

誰でもよいというわけではない。(岩崎委員)

ボランティアにしても誰かの親とかになると、やりづらくなると思う。(新村委員)

経験者だけでなく、未経験者でもできるシステムか何かあればよいと思う。(袴田委員)

朝の行き渋りがある。スクールガードの方が、もっと顔なじみになりたいと思っている人も

いる。休み時間に来て大丈夫なのか。(和田委員)

システムを作ってしまうばよいと思う。学校側でちゃんと把握していればよい。(校長)

前例がまだないが、学校側の要望を挙げてもらえれば、今年度は難しいが、いろいろな催しごとができる予算がある。(高台協働センター)

[報告]

個別登校について

三日間行って、子供たちにアンケートを取った。自分のペースで歩いて行ける。ストレスが減る。リーダーになったときの不安が大きかったのでよかった等のメリットがあった。

2月には一か月間挑戦したいと思う。旗振りの方や見守りの方にも聞きながら、やってみようと思う。今年度中に決めるのではなく、慎重に進めていきたい。

また地域の皆さんに御協力していただきたい。(校長)

スクールガード、見守り、ボランティアすべての方に意見を聞いた方がよい。登録されていない方もいる。(鈴木委員)

大きい交差点だと指導に困る。講習会など開いていただきたい。(岩崎委員)

基本は歩行者優先。(校長)

スクールガードの身の安全も大事で、以前講習もあった。(新村委員)

C S 活動報告

活動報告書にて説明があった。

公式ライン始めました。参加者のリアクションがとても早い。コミスク便りで地域へ発信していきたい。(和田委員)

[連絡事項]

自己評価表を記入していただき、12月中に提出していただきたい。第3回の学校運営協議会の時にまとめて報告したいと思う。(教頭)

その他報告事項等

教頭から、次回会議は、令和7年2月10日(月)13時30分から家庭科室で開催する旨の報告があった。